

## 南仏治安情報(2010年6月)

### ■プロヴァンス地方

#### 1. 武器を伴う強盗事件

当地方で多く見られる武器を伴う強盗事件は、6月に入り14件が地方紙により報じられており、前月24件に比べ減少しています。但し、従来のようなタバコ屋等の小型商店だけでなく今月は宝石店や眼鏡店なども繰り返し被害に遭っており、高額の被害が出ています。

#### 2. インターネット上の詐欺の新手口に注意を

6月にマルセイユの高校生が、偽小切手を用いた詐欺への関与で拘留されました。少年が個人売買のサイト「Ebay」に掲載したギター(65ユーロ)の購入を希望するイギリス人が、2000ユーロの偽のトラベラーズチェックを送りつけ、宛先を間違ったので差額を現金で振り込んで欲しいと依頼。その後も3000ユーロの小切手を同じく誤って送ったと偽り、少年に換金させ振り込ませていました。この手口の詐欺は最近増えているようですのでご注意ください。

#### 3. バカンス中の空き巣狙い対策

ブッシュ・デュ・ローヌ県警察は、バカンスに長期間留守をする際に最寄の警察に連絡をすれば、近隣のパトロールをしてくれる「Opération Tranquillité Vacances」というサービスを7月2日から9月初頭まで提供しています。2009年には約1100件の利用があり、その内空き巣被害に遭ったのは2件のみに留まっています。ぜひご利用ください。

その他にも空き巣被害を防ぐために、次のような注意が呼びかけられています。

1. 防犯アラームや防犯ドアなどを増強する、2. 宝石類は金庫に保管する、3. 自宅に現金を置かない、4. 目に付くところに自宅の鍵を置かない、5. 留守番電話のメッセージに留守期間を吹き込まない、6. 留守宅であることが目立たない工夫をする、7. 錠戸に鍵をつけるなど窓を増強する、8. 郵便箱を定期的にチェックするよう依頼する、9. 信頼できる人に時折室内に入って在宅を装ってもらう、10. 隣人に留守中に異常がないかの確認を依頼する、等。

### ■コートダジュール地方・コルシカ島

#### 1. ニース市内の犯罪件数が減少

警察の発表によると、2010年1月から5月までのニース市内の犯罪件数は、7523件と前年同時期と比べて4.89%の減少傾向にあることが明らかになりました。警察による尋問件数は811件と19.6%の増加、また2010年3月23日より新たに設置した監視カメラから逮捕に繋がった事件数は69件にも上りました。

#### 2. 高級車の窃盗・密売犯2名を逮捕

6月中にカンヌやニース、モナコ、サントロペを中心に高級車を盗み、転売を行っていた疑いで20歳代のセルビア人の男2人が逮捕されました。ここ3年間でポルシェやフェラーリなどの高級車を押込み強盗の際に盗み、旧ユーゴスラヴィア圏に転売していました。

#### 3. 麻薬取引による治安悪化

ニース市中心部 Gambetta 通りと Cessole 通り地区では、3ヶ月前から麻薬取引や暴力事件などが若干減少していましたが、6月に入り再び取引が見られるようになり住民からの苦情が相次いでいます。住人が注意すると逆に暴力を振るわれることが多く、警察のパトロール強化や監視カメラの設置が強く求められています。

#### 4. 蚊の大量発生への予防策

チキングニヤ熱を媒介する蚊(Aedes albopictus、通称 Moustique tigre)は2004年にマントンで発見された後フランスでも地中海沿岸で急速に増加していますが、アルプ・マリタイム県では大量発生を避けるため住民への注意を呼びかけています。この蚊は水溜りを生息地とし一匹で200以上もの卵を産むため、植木鉢の水受けや庭に放置された鉢、古タイヤなどに水が溜まらないよう注意が必要です。刺されるとしいアレルギーを起こすことがあるので、朝方や夕方は肌が露出しない服装を心がけるなどして防ぐようにしてください。

### ■ミディ・ピレネー地方

#### 1. 携帯電話を狙った引ったくりが急増

トゥールーズ市では1~5月までに携帯電話の引ったくりが651件と、前年同時期の425件に比べ増加しています。6月中にも地方紙が報じたものだけでも12件の引ったくりが起きており、中には抵抗した被害者が転倒して負傷したり、暴力を振るわれる事件もありました。6月中にはトゥールーズ市中心部で犯行を繰り返していた2グループ計7人が逮捕されました。

#### 2. 銅などの金属部品の窃盗が再び増加傾向に

銅などの金属の価値の高騰を受け、一時減少傾向にあった金属部品の窃盗が再び多く見られるようになってきました。モンペリエ市内で2人が ترامウェイ工事現場から金属板を盗み逮捕され、Tarn 県や Gers 県でもルーマニア人グループが逮捕されました。自動車工場のバッテリーや電車の線路、ガス管などを中心に窃盗を繰り返していたようです。

#### 3. 押込み強盗が増加

ミディ・ピレネー地方では6月に入り、住人が在宅中に武装して窃盗を働く押込み強盗が増加傾向にあります。地方紙が報じたものだけでもモンペリエ市および郊外では3件、トゥールーズ市および郊外で6件の事件が起こっており、被害の多くは高齢者宅で現金や宝石の他、美術品などが盗まれています。

#### 4. 騒音被害に対する電話相談窓口

トゥールーズ市では2009年9月より、市民に対して騒音被害に対する相談窓口(L'Office de la Tranquillité)が設置されています。この電話窓口「3101」は24時間、年中無休で受け付けており、年間5000件近く、週平均90件もの隣人による騒音、34件の飲食店での騒音、10件の公道での通行人による騒音への苦情が寄せられているようです。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。